

大阪府退教情報

2024年8月5日

発行第64号

発行者:大阪府退職教職員連絡協議会

会長:青柳 隆

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪教組気付

電話 06-6762-7999

単会学習交流会報告1

新時代の組織拡大・強化をめざして！

5つの提言受け、5単会から活動報告

去る7月26日、府退教はたかつガーデン8階を会場に2024年単会学習交流会を開催しました。青柳隆府退教会長は開会あいさつで、10年先の退職者会の在り様を展望する中で現在の課題を共通理解しようと5つの提言を行いました。「会員の高齢化、新規会員の減少傾向は共通の課題として浮き彫りとなっている。定年延長や65歳までの再任用、あるいは民間における70歳までの雇用推進など、退職者会に入ってさまざまな生きがい活動にいそしむ雰囲気は薄れてきている。そうした意識の変化の中でどう取り組みを進めていくのか」と退職者会の置かれている現状に触れ、「改めて元気に・明るく・楽しく集える」退職者会を目指していくことを大切にしたいと話し、以下5つの取り組みの必要性を訴えました。

1. 組織強化・加入促進の取り組み
2. ジェンダー平等と民主的運営の取り組み
3. 情報発信の取り組み
4. 魅力ある活動創出の取り組み
5. 財政確立の取り組み

以下、5単会の報告の概要です。



課題を提案する青柳隆会長

<大阪府高等学校・支援学校退職教職員連絡協議会>



「直面する課題について」話す米田彰男さん

- ・年金支給開始が65歳になり、60歳を過ぎても働く人が多くなり、高退教への加入が少なくなっている。同時に財政問題も発生しているため、通信費を削るためメールでの配信をめざしている。
- ・会員が広く、近畿各地に住んでいるため、直接会う機会をつくっている。
- ・具体的には、宿泊研修、日帰り研修、学習会、ハイキング等の企画をし、交流を深めている。

<高槻市退職教職員の会>

- ・顔が見える組織づくり。月に一度事務局会議、年に4回の会報。
- ・フィールドワークとして古都探訪で京都の世界遺産などを訪問。
- ・クラブ活動も盛んで、合唱、写真、ゴルフなどを楽しんでいる。
- ・また、具体的な取り組みとしては
退会者をださない。連絡や訪問を継続的なおこなう。
市教委、学校、校長会、教育長との話し合い
年間を通じて情報を提供する。
会報を手渡して。(顔が見える組織づくりのひとつ)



「新たなる時代の組織づくり」を語る吉川明さん

<大東退職教職員の会>



「女性参画の場を広げて誰もが居心地のいい活動」を紹介する井上晶美さん

- ・退職後の生き方交流を基本に季刊誌「かいほう」の発行
- ・会費はなし。イベント毎に実費をとり必要ならカンパを募る
以下様々な取り組みをすすめている。
- ・「歩こう会」「囲碁大会」「作品展」
- ・「午後のひとときサロン」
- ・退職後の趣味の音楽を披露し、お茶とお菓子で交流
- ・平和・人権・環境の取り組みとしては
- ・学習会(教組と共催) 憲法・反原発・医療・介護等
- ・府退教、憲法9条を誇りにする会、平和人権センター等の取り組みに参加
- ・若い人たちにも参加してもらってバトンを渡していきたい。

<守口市退職教職員会>

- ・年1回の守退教ニュースの発行と総会交流会の実施
- ・ニュースの中で、会員の近況報告がたいへん好評である。
- ・同好会としては ゴルフ・麻雀・歩こう会・コーラス・囲碁
- ・キッズもりぐちの支援等を行っている。



「誰もが参加できる組織運営を目指して」と報告する大西昭彦さん

<南河内教職員退職者の会>



「魅力ある単会活動をめざして」と抱負を述べる杉谷一義さん

- ・南河内は5市2町1村を含む単会のため集まりにくい面もあるが、様々な取り組みを進めている。
- ・「歩く会」「介護保険学習会」「スマホの操作勉強会」
- ・20周年記念レセプションがおこなわれ、川口真由美さんのミニコンサートを行い、おおいに盛り上がり、また会員の近況報告やアピールをおこない交流を深めました。

(文責 藤井、青柳 編集 青柳)